令和7年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	会計管理局
日 時	令和7年(2025年)4月22日(火) 16:08~16:44
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、東副知事、岸本副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 会計管理者、会計管理局次長(管理課長事務取扱)、工事検査課長、会計課長

発言者	発言概要
総務部長	財務会計システムの見直しについて、ペーパーゼロにしたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。
会計管理者	添付資料をすべてデータ化できれば可能だが、その手間がどれだけ省力化できるかだと思っている。そこを目指して取り組んでいく。
総務部長	制度を見直せばできるということがあれば、制度の見直しを行えばよいので、それも含めてお願ひしたい。
総務部長	資金運用について、金利が高くなってきており、これまでと違う切り口での対応も必要になる。
会計管理者	安全第一ということはあるが、収入がしっかり確保できるよう運用していく。
知事	金利が高い時代に入ってきており、今後は運用方法についてさらに指摘を受けるようになる。
会計管理者	専門家の意見も聞きながら運用を行っている。
会計課長	専門家3名によるリスク管理会議を年2回開催しており、情報収集等をしている。
知事公室長	財務会計システムの見直しについて、使い勝手が良いということは大事なことで、各所属にとっても予算執行管理や監査資料の効率化等、全庁的に効率化が図れるよう検討を進めていただきたい。
知事公室長	キャッシュレス決済について、万博でもキャッシュレス化されており、一部では使いにくいという声もある。皆さんにとって使いやすいよう、キャッシュレスが使えない方にも配慮をしていただきたい。
会計管理者	庁内からの意見も踏まえ、皆さんに良かったと言ってもらえるものにしていきたい。
総合企画部長	不適正な会計事務処理の防止について、研修や掲示板等、様々な取組をしてもらっているが、調べる・確認するという作業が負担になっていることもある。システムの中で間違った選択をしたら次に進めない等、人が確認しなくて良いような仕組みの構築をお願ひしたい。
総合企画部長	グリーン購入については、環境先進県らしい取組だと思っている。価格との比較はあるが、県が率先して購入することで商品が普及して価格が下がることもある。それ以外の分野でもスタートアップ企業の支援などで率先して取り組めることがないか検討をお願ひしたい。
会計管理局次長	財務会計システムについては、制約の中でどこまで対応できるかはあるが、ミスのないシステムという点も視野に入れながら再構築を進めていく。
会計管理者	グリーン購入のその先については、他府県で例のないことも検討していきたい。
岸本副知事	社会政策推進という点では、女性活躍推進への取り組みを加点要素にする、スタートアップ企業で実績要件を不問にする等の工夫があると思う。
知事	社会政策推進というのは、調達でそれを反映させようというものと思うが、何年かけて何をを目指すのか、「ものさし」を作る必要がある。

会計管理局次長	できるかどうかも含めて今年度、検討していく。思いはあっても十分な事業者数がなければ調達としては難しいということもある。どういう基準があるのかは研究していきたい。
東副知事	「滋賀県の契約に関する取組方針」は期間設定をしているのか。
会計管理局次長	期間設定はない。条例制定後3年が経過したため、振り返って成果と課題を整理して見直しを行いたい。基本理念は普遍的なものなので、そこはぶれずに検討する。
知事	社会政策推進も、この見直しの中で検討を行えばよいのではないかと。議会の関心も高いので、御意見を伺いながら進めればよい。
知事	学校での会計事務の適正化は、今年度、取組を行うのか。
会計課長	検討はこれまでも進めてきたところ。会計課で行っている会計事務基礎講座に県立学校職員も参加しており、継続して実施することで知識向上を図りたい。
知事	それは進めればよいが、監査からの指摘は、各学校で個別に行っていることを一元化せよという指摘であり、抜本的な改革を要請されていたと思っている。
総務部長	総務部、教育委員会と会計管理局の3部局で進めていく。
知事	工事検査について、大変な地味な仕事だが、とても大切な仕事だと思っている。この人数で対応できているのか。
工事検査課長	工事件数がここ5年ほどで2割程度増えているが、優秀な職員が経験を生かして対応してくれている。ただ代わりがないので、健康面の心配はしている。
知事	検査をする対象が増える一方で職員が増えないなら、やり方を変えることも検討しなければならない。
工事検査課長	検査対象基準が変更になったため、現時点では1割程度の件数が減ると想定している。現状は職員の努力で対応できているが、3月末など対応できない場合は発注機関で検査をしてもらっている。
知事	適正な会計事務で培われている信頼は大きいと思う。高い専門知識を持ちながら、助け合って業務を進めていることに心から敬意を表したい。これからも継続できるように、また庁内にも会計事務リテラシーが広がるように進めていただきたい。